

2020年 東北大学前期日程試験【国語】問題分析

1 今年（2020）の傾向

総評

昨年度同様に難度調整が巧妙になっており、受験生間の差がつく出題であった。基本的な知識問題も多いので、そこは落とせない。加えて、日常的に制限字数内に解答をまとめる訓練を積んでいないと論述問題には太刀打ちできないだろう。

現代文

評論は設問の誘導がかなり親切で、解答に用いる本文の該当箇所を探すのは易しかっただろう。一方エッセイ風の小説は、比喩的・感覚的な表現も多く、その内容を的確に自分の言葉も用いて説明するのは容易でない。他の問題が易しかっただけに、小説にあまり時間をかけすぎるのは得策ではなかったと言える。

合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（％）予想

文学部	55%	法学部	60%
教育学部	55%	経済学部	55%

来年受験する生徒へのアドバイス

本文の内容を簡潔に自分の言葉で言い換える訓練をたくさん積んで欲しい。

古文

平清盛が福原に遷都したことを、後になって内心では失敗だったと後悔していることを見抜いた藤原長方のエピソードである。本文は短いものの、長方による清盛の心情分析を文章の内容に沿って正確に説明することは、演習量の足りない受験生には困難だったかもしれない。過去問演習による「東北大慣れ」が必須である。

合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（％）予想

文学部	55%	法学部	60%
教育学部	55%	経済学部	55%

来年受験する生徒へのアドバイス

古文に限ったことではないが、過去問演習により、東北大が作る問題に慣れて欲しい。

漢文

昨年度同様、語の意味や句法に関する問題は易しい。制限字数を伴う説明問題も、以前ほど字数制限が厳しくなく、誰にでもそれなりの答えは作れる。したがって、より多くの要素を解答に盛り込めたかどうかで差が出るだろう。

合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（％）予想

文学部	55%	法学部	60%
教育学部	55%	経済学部	55%

来年受験する生徒へのアドバイス

漢文の学力は演習量に比例する。たくさんの文章を読み、たくさん問題を解いて欲しい。